



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月5日

上場会社名 松本油脂製薬株式会社
 コード番号 4365 URL <http://www.mtmtys.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 直樹
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部副部長 (氏名) 勘田 浩之
 四半期報告書提出予定日 2021年2月5日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 072-991-1001

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	21,283	12.4	2,660	28.8	2,755	35.4	1,987	34.4
2020年3月期第3四半期	24,301	3.8	3,734	9.4	4,267	16.7	3,029	16.5

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 2,257百万円 (26.9%) 2020年3月期第3四半期 3,090百万円 (4.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	614.23	
2020年3月期第3四半期	936.23	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	65,004	56,283	86.4
2020年3月期	64,706	55,010	84.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 56,146百万円 2020年3月期 54,855百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		300.00	300.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				250.00	250.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,100	20.0	2,500	47.4	2,900	46.8	2,000	48.6	618.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	4,512,651 株	2020年3月期	4,512,651 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	1,276,700 株	2020年3月期	1,276,660 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	3,235,951 株	2020年3月期3Q	3,236,084 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、米中貿易摩擦が長期化したことに加え、新型コロナウイルス感染症が再度の広がりを見せ、この対策として各国が実施した渡航制限、都市封鎖の影響により、経済活動が停滞しました。国内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が依然継続し、政策の後押しによる回復が一部見られたものの厳しい状況が続いております。

国内では、顧客における生産活動は、回復基調にあります。依然自粛ムードを引きずり、全体としては、十分な回復には至っておりません。海外では、2020年の初めから新型コロナウイルスによる世界経済悪化の影響を受けたため、各地での顧客における生産量の大幅減少や生産の一時停止、更にはロックダウンによる物流機能の停滞等がありました。第3四半期では、かなりの回復基調が見られたものの、全体としては減収となりました。

当社グループとしましては、新型コロナウイルスを主因とする世界的な経済環境の不安定さと変動リスクの長期化を踏まえ、引き続き高品質で価格競争力のある製品の開発を行うとともに、新規顧客・用途開拓活動の推進により収益の維持・向上を進めているところであります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高21,283百万円(前年同四半期比12.4%減)、営業利益2,660百万円(前年同四半期比28.8%減)、経常利益2,755百万円(前年同四半期比35.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,987百万円(前年同四半期比34.4%減)となりました。

セグメント情報に記載された区分ごとの状況

① 日本

日本における当第3四半期連結累計期間の外部顧客に対する売上高は20,949百万円(前年同四半期比11.9%減)、セグメント利益(営業利益)は2,627百万円(前年同四半期比29.4%減)となりました。

陰イオン界面活性剤の分野におきましては、国内繊維は、徐々に生産を再開しているものの、十分な回復には至っておりません。海外向けでは、繊維工業分野は堅調でしたが、非繊維工業分野の販売不振もあり、外部顧客に対する売上高は2,103百万円(前年同四半期比12.4%減)となりました。

非イオン界面活性剤の分野におきましては、国内では衣料分野向けの販売が減少し、産業資材分野については、一部自動車関連での回復が見られたものの、落ち込みをカバーすることはできませんでした。非繊維工業分野では、洗剤向けが好調に推移しました。海外向けでは、繊維工業分野が好調でしたが、外部顧客に対する売上高は12,827百万円(前年同四半期比8.5%減)となりました。

陽・両性イオン界面活性剤の分野におきましては、国内の繊維衣料用加工剤の販売は減少し、外部顧客に対する売上高は732百万円(前年同四半期比4.7%減)となりました。

高分子・無機製品等の分野におきましては、繊維工業関連では、衣料の国内生産が年初より悪化しゴールドンウイーク以降に大きく減少しましたが、非繊維工業関連では、自動車関連を中心とする需要が、当第3四半期では回復基調となっています。設備投資関連資材は、一部製品の終売により前年同四半期を下回る販売となりました。その結果、外部顧客に対する売上高は5,285百万円(前年同四半期比20.0%減)となりました。

② インドネシア

インドネシアにおける当第3四半期連結累計期間の外部顧客に対する売上高は334百万円(前年同四半期比34.6%減)、セグメント利益(営業利益)は35百万円(前年同四半期比119.9%増)となりました。

非イオン界面活性剤の分野におきましては、多くの得意先が半分程度の操業のため販売が落ち込みましたが、産業資材向け油剤は徐々に回復しております。その結果、外部顧客に対する売上高は198百万円(前年同四半期比29.8%減)となりました。

高分子・無機製品等の分野におきましては、国内では、大規模な社会制限が実施された影響により、経済活動が低下しております。このため、多くの得意先が休業しており、大幅に販売数量が減少しました。一方、輸出は昨年水準まで戻りつつあります。その結果、外部顧客に対する売上高は130百万円(前年同四半期比41.0%減)となりました。

陰イオン界面活性剤及び陽・両性イオン界面活性剤の分野におきましては、販売数量、販売金額ともに大きな進展は見られませんでした。外部顧客に対する売上高はそれぞれ5百万円(前年同四半期比23.8%増)及び1百万円(前年同四半期比34.7%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末（以下「前期末」という。）比297百万円（0.5%）増加して、65,004百万円となりました。流動資産は前期末比580百万円（1.2%）増加の50,247百万円、固定資産は前期末比282百万円（1.9%）減少の14,756百万円となりました。

流動資産増加の主な要因は、商品及び製品が418百万円、有価証券が181百万円それぞれ減少したものの、受取手形及び売掛金が1,151百万円前期末より増加したことによるものであります。

固定資産減少の主な要因は、機械装置及び運搬具が1,309百万円、投資有価証券が629百万円、建物及び構築物が615百万円それぞれ増加したものの、建設仮勘定が2,499百万円、繰延税金資産が208百万円前期末よりそれぞれ減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債の合計は、前期末比975百万円（10.1%）減少の8,721百万円となりました。流動負債は、前期末比966百万円（11.3%）減少の7,551百万円、固定負債は前期末比9百万円（0.8%）減少の1,169百万円となりました。

流動負債減少の主な要因は、買掛金が158百万円増加したものの、未払法人税等が652百万円、その他が321百万円、賞与引当金が150百万円それぞれ前期末より減少したことによるものであります。

固定負債減少の主な要因は、退職給付に係る負債が15百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前期末比1,273百万円（2.3%）増加して56,283百万円となりました。純資産増加の主な要因は、利益剰余金が1,016百万円前期末より増加したことによるものであります。

この結果自己資本比率は、前期末の84.8%から86.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、現時点において2020年8月7日に公表の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	33,089	33,170
受取手形及び売掛金	7,729	8,880
電子記録債権	171	203
有価証券	3,852	3,671
商品及び製品	2,270	1,852
仕掛品	527	470
原材料及び貯蔵品	1,035	1,061
未収還付法人税等	-	72
その他	993	867
貸倒引当金	△3	△2
流動資産合計	49,666	50,247
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,675	8,432
減価償却累計額	△5,424	△5,565
建物及び構築物（純額）	2,251	2,866
機械装置及び運搬具	12,532	14,198
減価償却累計額	△10,588	△10,944
機械装置及び運搬具（純額）	1,943	3,253
土地	529	528
建設仮勘定	2,530	30
その他	1,465	1,471
減価償却累計額	△1,311	△1,322
その他（純額）	153	149
有形固定資産合計	7,409	6,828
無形固定資産		
その他	31	45
無形固定資産合計	31	45
投資その他の資産		
投資有価証券	6,317	6,947
繰延税金資産	287	79
その他	1,000	862
貸倒引当金	△6	△6
投資その他の資産合計	7,598	7,882
固定資産合計	15,039	14,756
資産合計	64,706	65,004

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,902	6,061
未払法人税等	707	54
賞与引当金	311	161
その他	1,596	1,275
流動負債合計	8,518	7,551
固定負債		
退職給付に係る負債	1,002	987
資産除去債務	109	110
その他	66	71
固定負債合計	1,178	1,169
負債合計	9,696	8,721
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,090	6,090
資本剰余金	6,518	6,518
利益剰余金	49,066	50,083
自己株式	△7,321	△7,322
株主資本合計	54,353	55,369
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	650	940
為替換算調整勘定	△154	△178
退職給付に係る調整累計額	6	14
その他の包括利益累計額合計	502	776
非支配株主持分	154	136
純資産合計	55,010	56,283
負債純資産合計	64,706	65,004

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	24,301	21,283
売上原価	17,637	15,931
売上総利益	6,664	5,352
販売費及び一般管理費	2,929	2,692
営業利益	3,734	2,660
営業外収益		
受取利息	48	15
受取配当金	95	98
持分法による投資利益	93	118
為替差益	202	-
その他	123	173
営業外収益合計	562	406
営業外費用		
支払利息	0	0
投資事業組合運用損	10	14
為替差損	-	291
支払手数料	3	3
損害賠償金	13	0
その他	2	2
営業外費用合計	29	311
経常利益	4,267	2,755
特別利益		
補助金収入	-	190
固定資産売却益	1	0
特別利益合計	1	191
特別損失		
固定資産圧縮損	-	187
固定資産除却損	3	10
特別損失合計	3	198
税金等調整前四半期純利益	4,265	2,748
法人税、住民税及び事業税	1,160	676
法人税等調整額	71	75
法人税等合計	1,231	752
四半期純利益	3,034	1,996
非支配株主に帰属する四半期純利益	4	8
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,029	1,987

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	3,034	1,996
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	49	290
為替換算調整勘定	△5	△37
退職給付に係る調整額	10	9
持分法適用会社に対する持分相当額	1	△0
その他の包括利益合計	56	261
四半期包括利益	3,090	2,257
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,088	2,262
非支配株主に係る四半期包括利益	2	△4

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	日本	インドネシア	
売上高			
外部顧客への売上高	23,789	512	24,301
セグメント間の内部売上高 又は振替高	168	14	183
計	23,957	526	24,484
セグメント利益	3,721	16	3,737

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,737
棚卸資産の調整額	△2
四半期連結損益計算書の営業利益	3,734

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	日本	インドネシア	
売上高			
外部顧客への売上高	20,949	334	21,283
セグメント間の内部売上高 又は振替高	129	14	143
計	21,078	349	21,427
セグメント利益	2,627	35	2,662

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,662
棚卸資産の調整額	△2
四半期連結損益計算書の営業利益	2,660